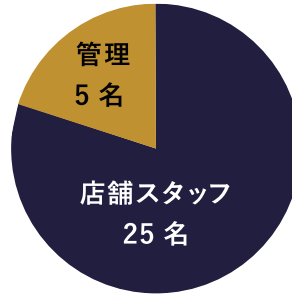


ご当地人気ラーメンチェーン店 M&A 成功で新規事業参入へ

ご当地食材を使ったラーメンチェーン店 株式会社フジタ屋

茨城県でラーメンチェーンを営む株式会社フジタ屋。1980年に「らあめん藤田」の1号店をオープン。ご当地食材と魚介ダシの効いたラーメンが人気で地道に売り上げを伸ばしてきました。しかし33年経営を続けてきた先代社長が退任することに。

社員構成



年商 ¥3億 3000万円

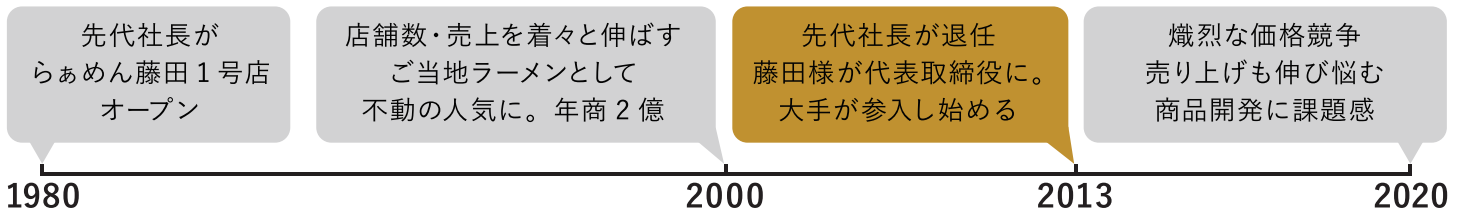
設立 1980年 11月 2日



代表取締役社長
藤田 信宏 (46)

二代目社長
経営歴 7年

次の社長に抜擢されたのは実店舗で経験を積んできた息子の藤田信宏様でした。しかしその頃から大手家系ラーメン店が店舗を続々と展開。熾烈な価格競争によって次第に売り上げが伸び悩む結果となってしまいます。M&Aを検討されたのはその頃からでした。また、主力メニュー以外の売り上げが乏しく、新メニュー開発にも課題を抱えていました。



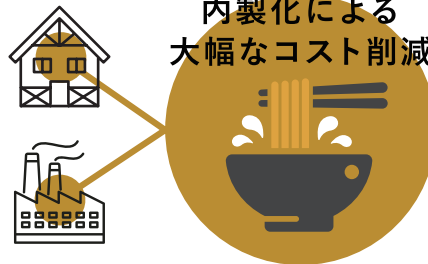
買収先

味に定評のある地元 No1 製麺会社

株式会社中平製麺所

年商 ¥1億 2000万円

長年、取引を続けてきた製麺会社。社長は高齢で、息子が社員に任せようとするも断念。信頼のおける後継者を探していたといいます。



社長自らが開発した技術が売りの製麺会社。先代もその味に惚れ込み取引を即決したほど。多くの地元民に愛されており、その地域で名前を知らない人はいません。

取引内容とその後

新メニューヒットで売り上げ好調、新規事業を視野に

この取引で得られたシナジーは大幅なコストカットだけではありませんでした。独自技術を持つ中平製麺所と共同開発した新メニューが大ヒットし、順調に売上が向上。また、「らあめん藤田」と異なる店舗を展開し、主力事業にされていくとのこと。

取引価格	5000万円
取引年月	2020年 3月

M&A 後の売上推移

M&A が生み出した3つのシナジー

